

子どもと教育 九条の会・品川

結成11号ニュース 2008. 9. 9



残暑お見舞い申し上げます

7.5 東京の教職員のつどい 9条を教育の隅々に

○ 学期末の忙しい中、350 人の参加。“子どもと教育九条の会・品川”からは10名。“憲法を守り生かす活動の交流”には、昨年の会結成時の飯口氏による腹話術「ケンちゃん、戦争に行きたくない」を再演。笑いと共に拍手が起きました。

○「九条の会」事務局長の小森陽一氏は、15 年ぶりに世論調査で改憲反対が過半数を超えたのは、草の根の運動で「九条の会」が増えてきた（現在 7000 余）事が反映していると話されました。2003 年 3 月、アメリカのイラク侵略戦争開始、自公政権による自衛隊派兵。そして教育基本法改悪がねらわれ、2005 年には改悪反対の広範な運動が立ち上がってきたが自公政権は強行採決。学校の中で教師と生徒が分断される状況が作られた。九条 2 項を削り「戦争できる国」への改憲の動きを歴史的経過の中で話されました。



学び、話しあった 7月例会

7 月の例会は、猛暑続きの中でしたが、9 名の参加で、『エクアドル・ボリビアの いま』を、AALA 連帯委員会の増田さんの、体験を交えた話に興味深く聞き入り、色々と話し合えました。

○エクアドルは人口 1320 万人、面積は日本の 75%。首都キトは標高 2850m ○スペイン統治下にあったため 67%がスペインとの混血、先住民族 22%アフリカ系 8% ○2006 年、コレア大統領圧倒的支持で当選 ○大土地所有制が残り、人口の 1%が 4 割の土地所有。いま農地改革が進行中。○マンタ基地（米軍）の基地撤去運動が進行中 ○新憲法で国民主権の十分な反映、先住民族の意志の平等や自然との調和の尊重、国家の主権を守り、軍事基地・核兵器は置かず、国家間の平等の尊重。

新刊!

酷暑で、局地的な集中豪雨や落雷に見舞われた夏、地球温暖化の怖さを実感させられた夏でもありました。お元気でいらっしゃいますか。

◇「リーダーシップを発揮する」（福田首相）はずの洞爺湖サミットで、先進国に求められる 2020 年までの中期目標の合意に至らず、「金持ちクラブの無力さを示した」（仏紙フィガロ）。

◇石油の高騰、食糧危機、洪水、干ばつで多くの人が被害に！サミット開催費用は約 598 億円とか！この費用で「アフリカの人々をマラリアから救う 1 億の蚊帳を買う事ができる」（タイムズ紙）

◇福田首相が突然の辞任表明。1 年前の安倍首相に続く政権投げ出しの無責任！「構造改革」路線をやめ国民のための内政に、アメリカ追従でなく平和外交に変えることこそ「国民の目線」での政治。

◇医療制度、雇用制度、経済政策、教育政策、外交など、政治の中身は人間尊重を軸に転換を！

9月の例会

★世界は九条をどう見ているか

—「戦争資料展」の展示からの報告

★今日の情勢と派兵恒久法

—「9・13 学習会」からの報告

○「世界の中の憲法 9 条」や、「今の情勢を、どう考え、どう行動していったらいいか」など話し合いましょう。

◇日時：9月26日（金）

1：30～4：00

◇会場：荏原第四区民集会所 2階

第一集會室（都教組品川支部名）

（大井町線荏原町駅下車南口駅前すぐ線路沿い）

※誰でも参加できます。どうぞ足をお運びください。



○ボリビアは人口 885 万人、面積は日本の約 2.85 倍。首都スクレ(実質的にはラ・パス) ○19 世紀末までは金銀、20 世紀に錫、石油輸出 ○2001 年世界最大のガス田発見。2007 年国有化する ○500 年間スペインをはじめ外国に富の大部分を奪われ「黄金の玉座に座る乞食」といわれた国 ○2006 年、初の先住民大統領エボ・モラレス ○1958 年の農地改革で分配された土地の 95%が企業の手。現在新憲法草案作成中、大土地所有制度の上限を下げることにについて検討中 ○新憲法草案に日本国憲法戦争放棄の中身を入れる

ボリビアの大統領が安倍首相に、日本の憲法 9 条をボリビアの憲法に入れたと言った。

7 月に横須賀で米原子力空母の母港に反対して、3 万人の集会があったが、マスコミは報道しなかった。

アメリカはエクアドルにマンタの基地延長を求めた時、チャベス大統領は、アメリカの国内にエクアドルの基地を作りたいと提案したが拒否された。

日本と同じ平和憲法を持つコスタリカで、アメリカのイラク戦争賛成と言った大統領を、憲法違反で訴えた大学生が勝ってしまった。

'80 年代は失われた 10 年、'90 年代は絶望の 10 年。この 20 年の新自由主義の下で貧乏人が増えた。新しい政治を望んだ

マスコミには従軍慰安婦の報道のように政府自民党からの圧力があつた。「九条の会」が増えて地道な努力が改憲反対の世論に生きている。

試行錯誤する時間が今はない。ゆっくりしていたらみんなについていけなくなる。今の時代は子どもの成長のリズムに合っていない。不登校の方が正しく思える。自分の歩みで楽しく生きるのが大事

日本でも新自由主義で貧困と格差が広がっている。教育の中にも競争原理が持ち込まれて、「効率」という言葉が使われてきた。

目の前の「勝ち組」になろうと、親も子も教師も追い込まれている。一人ひとりが色々考えたり協力したりできないような教育になっているのか。教師も子どもも楽しんで学校に行っていない。

不登校の親の会に行くと、9 条を守ろう、憲法を守ろうと書いてある。教師も子どもも苦しまず、楽しく学校に行けるようにしたい

コスタリカの小学校へ入学して最初に習う言葉は、「人は誰も愛される権利がある」だそうです。

どの子ども大切にしたい！

30人学級実現品川連絡会

結成集会

◇と き：9月17日 午後7時～

◇ところ：中小企業センター大会議室

(大井町線下神明駅下車 3 分)

●未実施は東京だけ...世界の潮流にも全国状況にも逆らって、かたくなに 30 人学級の実現を拒否し続ける東京都。この理不尽な姿勢に抗議し「30 人学級」の一点での全都の広範な共同行動が始まっています。

●東京全体の賛同署名の目標は 200 万筆の達成。品川ではその 1%、2 万筆を目標に連絡会を発足します。2つの教職員組合が手をつなぎ、「子どもと教育九条の会・品川」も賛同しています。「一人ひとりの子どもと向き合う教育」を東京に実現させましょう。賛同者に加わって、目標達成に力を尽くすことを呼びかけます。

時間が足りない
くらいの充実した
例会でした。

お知らせ

「九条の会」事務局主催学習会

名古屋高裁判決と派兵恒久法

◇9月13日(土) 午後1:30~4:00

◇会場 星陵会館(地下鉄・永田町下車)

講師

- ・ 小林 武 (愛知大学教授)
—名古屋高裁イラク訴訟で鑑定意見書
- ・ 半田 滋 (東京新聞編集委員)
—自衛隊の実態を克明に調査
- ・ 渡辺 治 (一橋大学教授)
—今日の情勢と派兵恒久法を語る

◇参加費 1000 円